

(9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

実践事項

★は、特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項

1 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進

- ・各教科等を相互に有機的に結び付けながら、教育活動全体を通じた計画的な指導を行う。
- ・我が国と諸外国の文化や風土等における類似点や相違点及びそれらを育んできた国々のよさに体験的に気付かせる指導を工夫する。

2 外国語教育の充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成

小・中学校共通

★身に付けた知識及び技能を実際のコミュニケーションにおいて活用できるよう、相手や話題を替えて、繰り返し体験させる言語活動を工夫する。

- ・言語活動を通して、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力を育成する。

小学校

- ・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながらコミュニケーション能力の素地及び基礎となる資質・能力を養う。
- ・既習内容を確認し、どのように言語材料が扱われてきたのかを十分に把握した上で、系統性のある指導を工夫する。
- ・スモールトークなどの言語活動において、外国語指導助手等を効果的に活用する。

中学校

- ・小学校での学習状況（授業時数・学習内容等）の把握や生徒の実態に基づいて、系統性のある指導を行う。
- ・「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標を生徒と共有するとともに、パフォーマンスを的確に評価し、その達成状況を把握する。
- ・4技能（5領域）をバランスよく育成するために、単元の指導計画を工夫し、計画的に指導する。

3 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

- ・地域人材を活用し、総合的な学習の時間等において、講演や文化の紹介を実施するなど、地域に根ざした国際交流活動を積極的に推進する。
- ・オンラインを活用するなど、諸外国の姉妹・友好提携校等との交流を積極的に推進する。